

●安全上の注意について

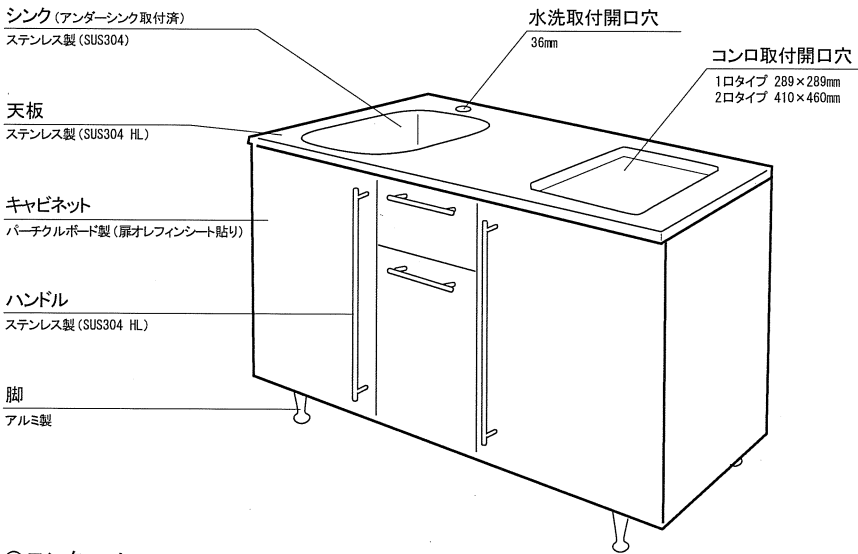
- ❗ 扉が傾いたり、がたついた時は蝶番のネジを閉め直してください。(破損やケガをする恐れがあります)
- ⛔ 扉やハンドルにぶら下がったり、大きく開け過ぎたりしないでください。(破損やケガをする恐れがあります)
- ⛔ 排水口に直接熱湯やテンブラ油を流さないでください。(破損や水漏れの恐れがあります)
- ⛔ 加熱機器の使用中、使用後に機器周辺には直接手を触れないでください。(やけどをする恐れがあります)
- ⛔ 棚板や、引出しに規定重量以上の物を入れないでください。製品の歪み・破損・落下の原因となります。耐荷重については下記の重量をお守りください。
棚板(底板)1枚につき 8kgまで
引出し一箇所につき 12kgまで
キャビネットひとつにつき 最大45kgまで

示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつく恐れがあります。必ずお守りください。

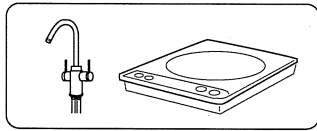
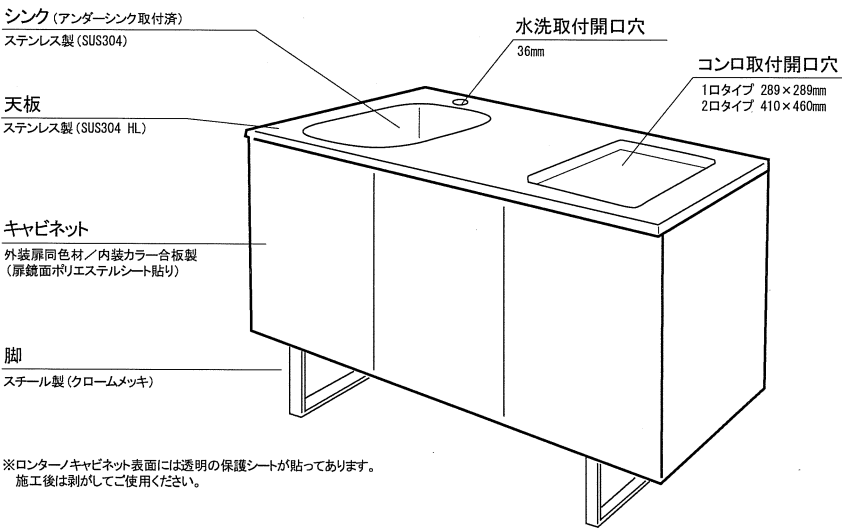
- ⚠ レンジフード、キャビネット、天板に頭をぶつけないようご注意ください。(ケガをする恐れがあります)
- ⛔ キャビネット内部で電気製品のご使用はおやめください。(製品の故障や火災の原因になります)
- ⚠ 扉の開閉時手足をぶつけないでください。(指を挟んでケガをする恐れがあります)
- ❗ 混合水栓のご使用の際、必ず水から出してください。(やけどをする恐れがあります)

1 キッチンの名称

◎ステムズ ※図は1200サイズ



◎ロンターノ ※図は1200サイズ



お願い

キッチン本体以外の機器には、それぞれ専用の取扱説明書が付属しております。必ずお読みになって使用上のご注意、メンテナンスを守り、正しくお使いください。

2 天板(ステンレスの場合)

お手入れ方法

布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。普段からかたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。ひどい汚れや落ちにくい汚れは台所用液体クレンザー(ジフ等)をつけて磨いてください。

3 天板(人工大理石の場合)

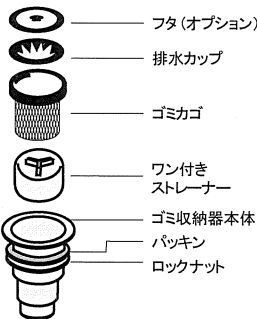
お手入れ方法

水や湯を含んだ布またはスポンジで、こまめにふいてください。週に一度くらい台所用洗剤を含ませた布でふきとると、油性の汚れが落ちます。トップに残った洗剤は固く絞った布でふきとってください。ひどい汚れや落ちにくい汚れはナイロン不織布(スコッチブライト等)でていねいに磨いてください。

5 排水トラップ

お手入れ方法

ゴミカゴやフタ、ワンなどは、こまめにお湯か中性洗剤をつけて汚れを落としてください。シンクの排水が詰まったり、流れにくくなったときは、ワンを外して掃除してください。それでも流れが悪い場合は、排水パイプ用の薬剤をご使用ください。ご使用する際は薬剤の説明書をよく読んでからご使用ください。



- ❗ ● ゴミはこまめに捨ててください(悪臭の発生や水詰まりの恐れがあります)
- 冬期寒冷地でトラップ部の中の水が凍ってしまう場合には、ワンを外しておいてください。(変形や破損の恐れがあります)

6 キャビネット

お手入れ方法

汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布でからぶきしてください。隅にたまったゴミはブラシで取除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れください。



- 扉やキャビネットが濡れた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

7 扉

お手入れ方法

普段のお手入れは柔らかい布でからぶきしてください。汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、必ず乾いた布でからぶきしてください。

4 シンク

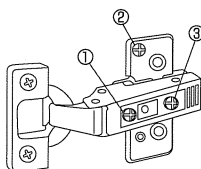
お手入れ方法

布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。普段からかたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。水滴が乾燥すると、水アカが残ります。中性洗剤では除去できません。普段のお手入れとしてシンク用スポンジを使い、よく洗い流してから乾いた布で空拭きしてください。

- ⛔ ● 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザー類を使用しないでください。(キズがつく恐れがあります)
- 漂白剤、硫酸、塩酸などは絶対に使用しないでください。(サビや変色の恐れがあります)
- 塩素系排水口洗剤(ヌメリ取り用)を絶対に使用しないでください。(塩素ガスが発生しサビの恐れがあります)
- ぬれた包丁や缶、ヘアピンをシンクに放置しないでください。(サビが移る『もらいサビ』がでる恐れがあります)
- しょうゆ・塩・マヨネーズなどの食品をシンクに放置しないでください。(サビや変色の恐れがあります)
- 排水口に直接熱湯や高温の油を流さないでください。(パッキン、ホースの破損や水漏れの恐れがあります)

蝶番の調整方法

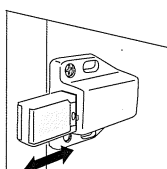
扉は調整した状態で出荷しています。使用しているうちに微調整が必要な場合は①②③のネジを回し、調整してください。調整後は②③のネジを締めます。



- 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザー類を使用しないでください。(キズがつく恐れがあります)
- 漂白剤、硫酸、塩酸などは絶対に使用しないでください。(変色や光沢が無くなる恐れがあります)
- 家具用ワックス、シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。(変形や変色の恐れがあります)
- 塗装面にセロテープ、ガムテープを貼らないでください(剥がした後、汚れが残る恐れがあります)

プッシュラッチの調整方法(ロンターノの場合)

ラッチは、調整した状態で出荷しています。床のフリク等で扉の調整が必要な場合は蝶番で調整しますが、それでもうまくいかない場合はラッチ本体を移動させて、具



8 キッチン取付・設置資料

- 搬入・搬送は必ず手運びをお願いします。
- 重量がある為、荷受の準備をお願いします。※車上渡しとなります。
- 据付調整時には必ず軍手を着用してください。
- 電気工事、管工事は関連する法令、規定に従って、必ず『有資格者』が行なってください。
- ステンレス製天板、シンクを取り扱う時は、必ず保護手袋を着用してください。

L900	44kg
L1200	68kg
L1500	75kg

準備

1. 搬入経路を確保。
2. 据付位置の床レベルが出ているか確認。
3. 設備位置は図面通りか確認してください。

組立

4. 吊戸・フードを取付けてください。※吊戸施工資料参照
5. 脚を付属ビスで固定してください。(9 参照)
※必ずキリ等で下穴を開けてからビス固定してください。
6. 背面もしくは底面にルーターまたはホルソーで配管・配線用の穴を開けます。※設備図面参照
7. キャビネット本体を付属ビスで壁面に固定してください。(9 参照)
8. 水栓を天板に取付してください。※機器メーカーの設置工事説明書参照
9. 天板固定用の三角型金具が固定されています。人工大理石天板の場合は金具を下げて取付してください(固定位置は下穴加工されています)(10 参照)
10. キャビネットに天板をのせてL型アングルで固定してください。(10 参照)
※シンク側の天板固定は長いビット(別途)をお使いください。
11. 水栓以外の設備機器を取り付ける。※機器メーカーの設置工事説明書参照。
12. 扉の調整(6 参照) ※レール(引出し)は調節不可となります。

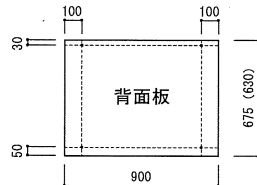
配管

13. 給排水の接続。
14. ガス(電気)の接続。

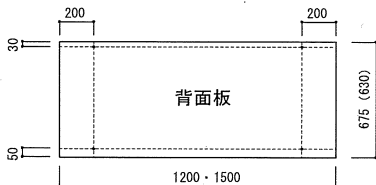
- 取付、設置後は必ず養生してください。
- 引出しの取外しには必ず軍手などを着用してください。けがをする恐れがあります。
- 扉がズレたりした場合は別紙の方法で調節できます。(7 参照)
- 設備機器類に関するお取り扱い、個々メーカーの取扱説明書をご確認ください。
- キズやカケのクレームに関しましては、納品後3日以内にお知らせください。

9 固定用ビス穴位置

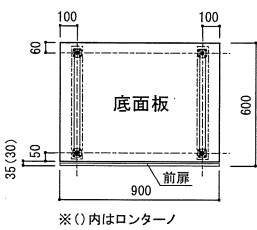
壁固定ビス位置【L900】



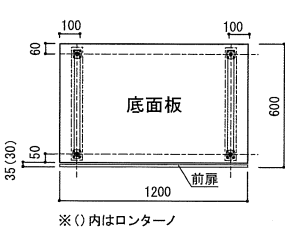
壁固定ビス位置【L1200/1500】



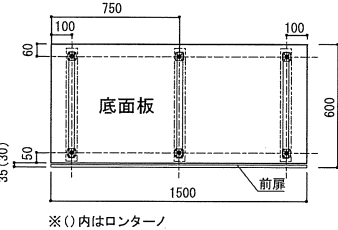
脚固定ビス位置【L900】



脚固定ビス位置【L1200】



脚固定ビス位置【L1500】

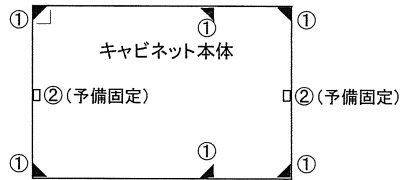


- 必ずキリ等で、下穴を開けてからビス固定をして下さい。
- この脚位置はあくまでも参考位置です。給配水管等がある場合は任意の位置に動かしてください。

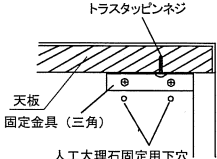
10 天板の固定方法

固定金具取付位置

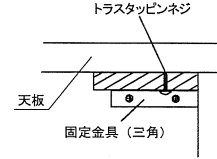
- ①元々取付してある金具(4ヶ所または6ヶ所)
- ②反り等があった場合に取付する金具の場所



＜ステンレス天板の場合＞



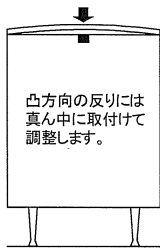
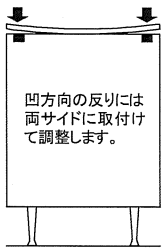
＜人工大理石天板の場合＞



付属金物内容	
①天板固定金具(反り調整用) 4ヶ	②タッピンネジ3.5x12 20本

天板の反り調整

1mmを超えるその場合は、反り調整用の金具で調整してください。



- 天板をのせる前にキャビネットに固定金具を取付してください。
人工大理石カウンター取り付けの場合は、固定金具を外し「人工大理石固定用下穴」を使用し固定を行ってください。
- 天板をのせた後、機器開口まわりの反りが1mm以内であるかご確認ください。(水漏れ防止の為)

11 アフターサービス

1. 保証について

下記保証書をご提示ください。故障した場合記載内容により無料修理いたします。

キッチン保証書		
品番	製品本体に貼ってあるシールをご確認ください。	当社製品はお買上げ日から1年間無料修理いたします。但し離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けます。保証は日本国内において有効です。 保証期間中でも以下の場合には有料修理となります。 ●取扱説明書および注意ラベルによらずご使用になり、故障及び損傷した場合。 ●取付、設置時の不注意または過失による故障及び損傷。 ●引渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障や損傷。 ●不当な修理や改造による故障及び損傷。 ●火災、天災、地震、その他の不可抗力による故障や損傷。 ●建築躯体の強度不足、歪み、劣化、その他本体製品以外の不具合による故障や損傷。 ●電気製品など個々の機器に保証書のあるものは、各機器の保証書に従ってください。 (修理ご連絡先) 株式会社サンワカンパニー TEL 0120-468-838 FAX 0120-382-096
保証期間	対象：キッチン本体 期間：お買上げ日から㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㋀㋁㋂㋃㋄㋅㋆㋇㋈㋉㋊㋋㋌㋍㋎㋏㋐㋑㋒㋓㋔㋕㋖㋗㋘㋙㋚㋛㋜㋝㋞㋟㋠㋡㋢㋣㋤㋥㋦㋧㋨㋩㋪㋫㋬㋭㋮㋯㋰㋱㋲㋳㋴㋵㋶㋷㋸㋹㋺㋻㋼㋽㋾㋿㌀㌁㌂㌃㌄㌅㌆㌇㌈㌉㌊㌋㌌㌍㌎㌏㌐㌑㌒㌓㌔㌕㌖㌗㌘㌙㌚㌛㌜㌝㌞㌟㌠㌡㌢㌣㌤㌥㌦㌧㌨㌩㌪㌫㌬㌭㌮㌯㌰㌱㌲㌳㌴㌵㌶㌷㌸㌹㌺㌻㌼㌽㌾㌿㍀㍁㍂㍃㍄㍅㍆㍇㍈㍉㍊㍋㍌㍍㍎㍏㍐㍑㍒㍓㍔㍕㍖㍗㍘㍙㍚㍛㍜㍝㍞㍟㍠㍡㍢㍣㍤㍥㍦㍧㍨㍩㍪㍫㍬㍭㍮㍯㍰	
お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前 ご住所 電 話 ()	
工事店	店 名 電 話 ()	

※お客様でご記入をお願いいたします。(サービスを依頼される際にお役に立ちます)

2. 廃棄処分について

廃棄の処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

ステムズ・ロンターノのホルムアルデヒド発散区分

1	製造企業名	株式会社サンワカンパニー
2	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共にF☆☆☆☆
3	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会表示指針による
4	製造番号及び年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。
5	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	パーティクルボード F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.

ae' a¼@' U' N @ \$541-0042' a+{ a's' t%>< { 2-3-21-3F TEL 06-6229-1034
ae' ce' ¼@' U' N @ \$107-0062' ce' s' < Å R4-18-16-B1 @ @ TEL 03-5775-4763
ae-¼ceA%&¼@' U' N \$461-0004 -¼ceA%&s' ce' 1-13-8-1F @ @ @ TEL 052-935-2217

TSSA-09104